

第7回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（南部）

日 時	平成26年1月25日（土）
場 所	ほなみふれあいセンター
参加人数	住民参加者：30人 議員14人 事務局1人
地元協力団体	南部協議会および南部公民館
議員役割分担表	<p>総括責任者 湯本 市蔵</p> <p>司会進行 一同 上</p> <p>常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 田中 篤</p> <p>社会文教常任委員会 布施谷裕泉</p> <p>観光経済常任委員会 小渕 茂昭</p> <p>広報常任委員会 小根沢 弘</p> <p>議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>記 録 者 黒岩 浩一</p> <p>出席議員 小根澤 弘・望月 貞明・西 宗亮・田中 篤・布施谷裕泉・高山 祐一・山本 良一・黒岩 浩一・湯本 市蔵・小渕 茂昭・山本一二三・小林 克彦・渡辺 正男・児玉 信治</p>
次第（担当者）	<p>1. 開 会 司会者 湯本 市蔵</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 議 長 児玉 信治</p> <p>(2)共催者代表 南部協議会会長 養田 修 氏</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会等報告</p> <p>①総務常任委員会 田中 篤</p> <p>②社会文教常任委員会 布施谷 裕泉</p> <p>③観光経済常任委員会 小渕 茂昭</p> <p>④広報常任委員会 小根沢 弘</p> <p>⑤議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 懇談事項</p> <p>テーマ (1) 公共施設の整備」</p> <p>(2) そのほか自由</p> <p>5. 閉 会 あいさつ 南部公民館長 望月 千弘 氏</p>
報告事項の質疑	<p>(1) 質問：ロマン美術館の収支はわかったが志賀高原98会館の収支は。</p> <p>回答：指定管理者の和合会に年1,400万円管理を委託しているので、収支としてはわからない。</p> <p>(2) 質問：災害時の避難場所リストは、適切かどうか問題がある場所もあるのでは。また公会堂などでも耐震改修が必要な場合、費用の助成金はどうなるのか。</p> <p>回答：リストは消防で再検討中である。またコミュニティ施設助成事業は6割までで、上限1,500万円。</p>

懇談会意見

- (1) 質問：①過疎、高齢化が進行中で、これが諸問題の基本的原因である。町民、行政、議会が一体となってまず何をなすべきか。
②文化財や歴史的建造物の看板すら老朽化しており、真剣に保存を心がけているか疑問である。教育委員会・教育長は何やっているのか？
- 回答1：①何といても町の経済活性化が最も大切。アベノミクスの地方浸透はまだまだ。観光は今年、来年が山場である。
- 回答2：②ご指摘どおりで議会としても問題意識があり指摘したことがあるが、教育委員会の予算不足などのため改善されていない。教育委員会と観光商工課の業務が縦割りなのも多少問題である。
- (2) 質問：町税滞納額はどれほどか。また、固定資産税納入の分割回数をもっとふやしてくれれば払いやすいとの声もあるが。
- 回答1：滞納繰越額は7億6,000万円、うち固定資産税は6億4,000万円。
- 回答2：分割支払い等を含めて、個別に納税相談に応じている。
- (3) 質問：教員住宅に空きが多い。町外からの移住者に貸すなど有効活用すべきでは。
- 回答：公共施設問題の審議会が相当期間開かれておらず、停滞中である。ご指摘の点は議会としても問題意識あり。町民住宅、移住者受け皿用、障がい者用施設としての活用などを町に提案していきたい。
- (4) 質問：下水道の接続率は。また加入促進のための接続費用財政支援は。
- 回答：公共下水道93.1%、特環79.2%、農集については、西部70.7%、北部44.7%である。個人で支払うべき諸費用については、希望があれば金融機関から割に借りやすいはずなので、町としては個別の財政支援は特に考えていない。
- (5) 質問：①人口減対策と雇用対策は議会で十分議論されているか。高山村などに比べ当町は手ぬるいのでは。
②飯山のふるさと納税急増が話題になったが、当町の実情と振興策は。
- 回答1：①当町でも農業担い手の高齢化が急速に進み、遊休荒廃農地と農業後継者対策が急務であり、「ひと・農地プラン」とか「新規就農支援」とか色々やっている。
- 回答2：①個人の農業機械購入の補助制度、新規就農支援など当町が先行している面もある。移住者空き家改修に対する支援もある。また果樹栽培は労働集約型なので規模拡大では対応しきれず、3町歩が限度であり、それを前提にして諸施策を考える必要がある。
- 回答3：②平成24年度のふるさと納税は8件29万円である。(累計は47件、272万円。)振興策については、もっと努力が必要である。
- (6) 質問：杳野チェーンベースのトイレ便座ヒーターが故障して凍結している。志賀高原の玄関口として極めてイメージが悪い。
- 回答：実態を確認の上、至急対処するよう要望する。

(7) 質問：足立区などとの友好交流を一步進めて、高齢者の介護受け入れとか、杉並区と南伊豆町の如く両自治体が協力して特養老人ホームを計画するとか考えては。

回答：ご指摘のとおりである。厚労省の「住所地特例※」を活用して、雇用対策、人口減対策として有効である。危機的状況にある当町としては、なんでもありで必死に努力すべきである。

(※医療費を、住民票所在地の自治体でなく、前の居住地の自治体が負担する仕組み。ただし、入所後に後期高齢者年齢に達した人については、現行制度では対象外になるなど使いにくい点があり、厚労省が改善検討中。)

(8) 質問：災害時の避難所は耐震だけでなく、非常用発電装置などの施設にも配慮が必要。

回答：町は避難所見直しだけでなく、必要な物資・施設の配備・管理も検討している。非常用発電設備は現在各地域消防詰所にあるので、区と消防の連絡が必要。

(9) 質問：竹下内閣時代のふるさと基金1億円は現在いくらのかっているのか、なし崩しでなく、何か後世に残る目に見える使い方をすべく、議員も知恵をだせ。

回答：24年度末残高は、その後の寄付分270万円を合わせて約5,200万円である。ご趣旨は理解するので考えていきたい。

(10) 質問：道の駅の農産品販売はシーズン外の冬場は寂しいが、四季を通じて賑わう様に工夫できないか。

回答：現在は町内生産品に限定しているのでなかなか難しいが、ハウス物や他地域ものの扱いとか、運営の仕方とか（例えば現在の売れ残り生産者持ち帰りシステムとか、）今後いろいろ工夫して行かねばならないと思う。